



Contents

- ・【巻頭エッセー】 変わるものと変わらないもの
… 渡辺俊哉 ●表紙
- ・【研究発表会】 Musicolor - 音と色の祭典 - ●2～3
- ・ Question box②① … 樋口真規子 ●4
- ・ ピープル・ビーぶる④①…宮部真砂子 ●5
- ・ 風景の中で⑦ … 図書館長 井上郷子
資料の部屋⑦ … 岡本さやか ●6
- ・【私のおすすめ】 … 武内理恵 北原義嗣 ●7
- ・『竹内道敬文庫の世界』公開
Information ●8

Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

No.309

【巻頭エッセー】 変わるものと変わらないもの

渡辺 俊哉

初めまして。渡辺俊哉です。私の専門は作曲なので、作曲以外の学生の皆さんと接する機会は、主にハーモニーやソルフェージュの授業になります。

皆さんと図書館の関わりは、どのようなものでしょうか？おそらく大学院の皆さんは、論文を書くための資料を探すために頻りに利用していると思いますが、学部生の皆さんは、もしかすると、あまり利用していない人もいるかもしれません。

学生時代の私はというと、かなり頻りに図書館を利用していました。当時、『レコード芸術』（音楽之友社）という雑誌で現代の音楽が特集されている月があって、20世紀の重要な作曲家と、その作曲家のお薦めの曲、及びCDが紹介されていました。私は作曲の学生だったということもあり、今生きている作曲家が書いている曲にとっても強い関心があったので、紹介されていたCDを貪るように聴き、知らない作曲家に関しては調べたりしていました。また、様々な国の音楽なども聴いたりしていました。

しかし、こうしたことは今の学生の皆さんにはピンとこないかもしれません。なぜなら、今では簡単にYoutubeで音源を聴くことができますし、簡単な知識であればわざわざ図書館に行かなくても、ネットですぐに調べることができるからです。それでは何のために図書館はあるのでしょうか？

図書館は、あの場所にずっと変わらずにあるだけではありません。内装や外装はリニューアルして分かりやすいですが、利用できる中身も時代とともに変わってきています。例えば

図書館のオーディオ室には、非常に優れた性能のスピーカーがあり、先生同伴であればそのスピーカーを利用することができます。このような素晴らしい環境が整えられている図書館は、そうそうあるものではありません。

また、図書館でアカウントを作成すると、ベルリン・フィルの有料配信サービス「デジタル・コンサート・ホール」を無料で見ることができます。一流のオーケストラの演奏会を無料で、しかもライブで視聴することができるのです。こうした体験を数多く積み重ねることも、きっと皆さんの刺激になるはずです。

一方で、昔から引き継いでいる図書館の価値も勿論、些かも減ってはいません。図書館にはネットに掲載されていないような古い資料もたくさんありますし、様々な資料に触れることによって、多角的なものの見方を知り、自らの考えを深めていくこともできます。図書館は、じっくり物事と向き合い、時間をかけて思索を深めるのに最適な場所といえるでしょう。

時代の変化とともに様々なコンテンツも増え、つつい手頃なものだけに頼ってしまいがちですが、そのコンテンツにはそれぞれ特長があります。そしてその中身も少しずつ変わってきています。こうした変化に敏感になり、それぞれの特長を見極め上手に活用することによって、これからより豊かな学生生活を送り、深みのある音楽家（人間）になることを願っています。

●わたなべ としや 本学准教授（作曲・音楽理論）